



皆様、新年おめでとう
 ございます。よき新春を
 お迎えのことと、お喜び
 申し上げます。新型コロナ
 ナによる影響で大変な状
 況ではありますが、市民
 の皆様はお変わりなくお
 過ごしでしょうか。

コロナ禍が続き、行事・
 イベント等の中止や延期
 により、先の見通しがつ
 きにくい状況ですが、く
 れぐれもご自愛くださ
 い。今年は、世界自然遺
 産登録が6月に控えてお
 ります。この素晴らしい
 奄美を世界にアピールで
 きる機会でもあり、ピン
 チをチャンスと捉え、前
 進しなければなりません。
 病院のない時代に先祖
 が命をつないできてくれ
 た強い精神に感謝し、未
 来のために強い志を持っ
 て邁進して参ります。一
 日も早い新型コロナの終
 息と皆様のご健康とご多
 幸をお祈り申し上げます。
 今後とも、皆様から
 のご指導ご鞭撻のほどを
 よろしくお願い申し上げ
 ます。

議 会 令和2年第1回臨時会(11/25)
トピックス における主な議案について

- 2年度一般会計補正予算第8号(2億5830万円の増額)。その主な内容は、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業として、
 - ①店舗感染防止対策支援事業5100万円:小売店・飲食店・理容美容店などに感染防止対策用品の整備費用を助成(消毒器、検温器、換気・飛沫防止対策用品など)
 - ②島外で頑張る学生応援事業4300万円:島外の学校に在学する高校・専門学校・大学生などに一人当たり3万円を給付(保護者が奄美市在住者に限る)
 - ③島民向け宿泊体験プログラム助成事業4290万円:島内5市町村が連携し、宿泊・体験プログラム費用の半額を補助(上限2万円)
 - ④インフルエンザ予防接種助成事業3710万円:65歳以上の高齢者を対象に、費用の全額を助成(現行の助成事業に加えて、自己負担額1500円も助成)
 ※参考:県事業として、子ども(生後6カ月~小6生)と妊婦を対象に費用の一部2千円の助成制度もある。
 - ⑤新生児特別給付金3200万円:令和2年4月28日から令和3年4月1日までに誕生した新生児に10万円を給付(国の特別定額給付金に代わるもの)
 - ⑥未就学児世帯応援事業1550万円:未就学児の子ども一人当たり5千円分の商品券を給付
 - ⑦卒業生向け「卒業の思い出づくり」応援事業740万円:市内の全ての小中高卒業生に向けて、一人当たり5千円(上限)を助成。卒業イベントなど使い道は自由

により、先の見通しがつ
 きにくい状況ですが、く
 れぐれもご自愛くださ
 い。今年は、世界自然遺
 産登録が6月に控えてお
 ります。この素晴らしい
 奄美を世界にアピールで
 きる機会でもあり、ピン
 チをチャンスと捉え、前
 進しなければなりません。
 病院のない時代に先祖
 が命をつないできてくれ
 た強い精神に感謝し、未
 来のために強い志を持っ
 て邁進して参ります。一
 日も早い新型コロナの終
 息と皆様のご健康とご多
 幸をお祈り申し上げます。
 今後とも、皆様から
 のご指導ご鞭撻のほどを
 よろしくお願い申し上げ
 ます。

- ⑧新型コロナウイルス検査助成事業420万円:65歳以上の老人福祉施設等の利用者のうち、行政検査対象外で自ら検査を希望する方が対象。PCR検査の全額28000円を助成
- ⑨新型コロナウイルス対応従事者慰労金交付事業【国事業】185万円:住用・笠利診療所、一人当たり5万円を支給
- ⑩「奄美市新型コロナウイルス対策官民連携協議会」の設置50万円
- 特別職・職員の期末賞与を0.05月分減額

**第4回(12月)定例会における
 主な議案について**

- 2年度一般会計補正予算第9・10号(計9億574万円の増額)⇒結果、一般会計総額は410億3678万円。その主な内容は、
 - ①障がい者福祉費における事業費5億4619万円
 - ②本庁舎工事請負費(追加分)9500万円
 - ③ひとり親世帯臨時特別給付金【国事業】:一世帯当たり5万円、第2子以降一人につき3万円を給付
 - 国民健康保険事業・水道事業など7特別会計・企業会計の補正予算
 - 名瀬運動公園、名瀬公民館、あやまる岬観光公園など全10件の指定管理の期間を来年度末まで1年間延長
 - 奄美駐屯地への電子部隊配備に反対する決議を求める陳情 ⇒ 不採択
 - 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書提出の発議 ⇒ 可決

まさのたくやの



ご報告

1 危険な空き家について

今現在、解体を後押しできるような補助制度も検討中ということでしたが、周辺にお住いの皆さんが不安に感じていることは確実です。今年度内に設置予定の「空き家対策協議会」の中で精査され、集落や町内会の意見も取り入れながら進めていくことですので、前に進むことを期待して注視していきたいと思っています。

2 市税等のクレジット決済導入について

令和3年4月から利用開始となります。公金支払いの選択肢の一つとしてぜひ使ってみてください。

3 指定避難所整備と見直しについて

防災会議を通して見直しを図

ているところで、新しいハザードマップに反映されるとのことですが、避難所施設のない地域もありますので、地域防災活動の拠点となる避難所の整備と見直しを要望していきたいと考えています。

4 学校作業療法士導入について

学校へ作業療法を導入することにより考えられるメリットとしては、生活の中で困り事のある子供達にとっては勿論、保護者・教師と協力して子供へ届けたい教育でつながることができるところです。教室での様子や友達との交流を観察して、その情報を基に先生・保護者みんなで話し合い目標を立て、学校と家庭が協働的に子供の成長を支える関係づくりを目指すことができます。協働することによって先生たちの負担も軽減され、子供達も自分の役割や責任・達成感を感じることができると思われます。全員にとってプラスに働くことだと思えますのでぜひ取り入れて欲しいと思っています。

ゆげ洋平の



ご報告

1 雑木、雑草の仮置き場設置について

今後、各集落の代表である囀託員等から意見を聞きながら、仮置き場としての必要性や設置場所について検討する。また、地域ごとに伝統や特色も踏まえて自主性を大切にした地域活動を支援していくとのことでした。

2 本市管理の漁港における放置船について

長期間放置され廃船状態となり、放置船が景観を損ねている状態になっている箇所があることは、地域からの要望等も寄せられている。今後の解決策については、所有者が判明している船舶は、状況から廃棄物の判定を行い、漁港の適正管理を徹底し、放置船・廃船・持ち主不明船等の実態を調査し、指導していく。島内の産業廃棄物業者による解体・埋設処分が行われて

いるので、廃船にかかる市民等からの問い合わせ等に対応できるようにホームページによる周知につきましては、早急に対応することでした。

3 防災対策について

9月の台風10号により、避難所へ避難された方より、窓ガラスが割れないか懸念されていたので質問しました。市内には、14箇所指定避難所がある。全ての避難所への強化ガラスの導入には至っていない状況。強化ガラスではない避難所では養生テープを貼るなど飛散防止に努めているが、今後施設の改修の中において強化ガラス取付について検討し、質問のガラス飛散防止フィルムを活用なども含めて、計画的な避難所の環境整備に努めるとのことでした。



○ゆげ洋平プロフィール
●昭和 61 (1986) 年生まれ、34 歳
●文教厚生委員会委員等、現在 1 期目
連絡先：奄美市住用町見里 27
携帯電話：090-5736-2105

Eメール：yugeyouhei@gmail.com



○まさのたくやプロフィール
●昭和 46 (1971) 年生まれ、49 歳
●総務企画委員会委員等、現在 1 期目
連絡先：奄美市名瀬伊津部町 13-11
携帯電話：090-9573-6619

Eメール：komeyamasano@gmail.com

安田そうへいの



ご報告

1 子育て支援の継続的な強化を！

本市の総合計画や地方創生総合戦略に基づき、今後も子育て支援の継続的な充実を図る方針を確認した上で、県が来年度より子ども医療費の窓口無料化（住民税非課税世帯が対象）を高校生まで拡充するのに合わせて、本市の「子ども医療費助成事業」を現行の中学生までから高校生までに拡充することを提案しました。財政状況を見極めていきたいとの答弁、期待しています。また、内閣府が推進し家賃や引越費用を応援する「結婚新生活支援事業」の導入についても提案したところ、その有用性に理解を示しつつ、実施自治体の効果検証をみながら検討するとの答弁、私も後押ししてまいります。

2 名瀬港新旅客ターミナルビル整備について

県が進める本事業について、最新の情報としては、既存の旅客ターミナルビルと市街地側にある上屋（倉庫）の間に建設を予定しており、詳細については港湾関係者や利用者等と協議を行っていくとのこと。奄美市の「海の玄関」として、働く人や利用者のことをいちばんに考えた施設にしてほしいと要望しました。旅客業務に伴う機能に加え、地元住民や観光客が集う公共施設として、バス・タクシー乗り場、飲食・おみやげ・観光案内所、授乳室、一時休憩所（ふる・休憩室）、展望デッキ、多目的スペースなどを設け、収益性の上がる稼げる施設を目指すことを提案。コロナ後のクルーズ船客の利用やマリントウンとの連携を踏まえて、市としての積極的な関与を求めていきます。

皆様へのお知らせ

お困りごとや奄美市へのご要望等ありましたらお寄せください！
皆様のお声が、私たちチャレンジ奄美の活動の源になります！

チャレンジ奄美



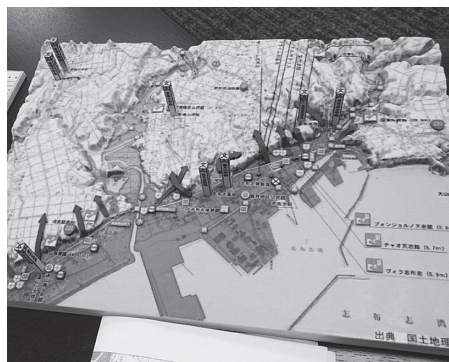
これまでの活動の軌跡

令和元年11月に会派を結成して1年余り。これまで、多くの方々のおかげで、様々な活動に取り組んできました。大事にしているモットーは、「市民の皆様の思いに寄り添う」こと。これからもフットワーク軽く、現地現場に赴き、皆様との対話を重視した活動に取り組みます。



①大浜海洋展示館

令和2年1月、地震など自然災害を研究する鹿児島大学・井村隆介教授との勉強会。3Dプリンターを用いた「立体ハザードマップ」による災害教育の重要性を学び、議会で提案しました。



②立体ハザードマップ

令和元年12月、大浜海浜公園の海洋展示館などを視察、浜砂の減少を確認。海水浴だけでなく楽しみ方の可能性についても指定管理者と意見交換し、議会で提案しました。

●本チラシの「配布ボランティア」を募集しております
●SNS(フェイスブック、ツイッター)やしーまブログでも活動情報発信中です！
各議員名でご検索ください

皆様へのお知らせ その2



○安田そうへいプロフィール
●昭和54(1979)年生まれ、41歳
●産業建設委員会委員等、現在3期目
連絡先：奄美市名瀬小俣町29-32
携帯電話：090-3546-7031

Eメール：sohei@mskj.or.jp

③宮崎県日南市

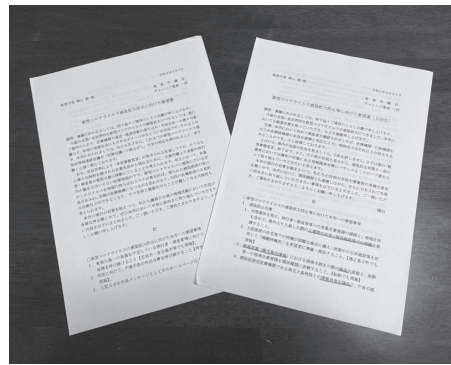


■令和2年1月、宮崎県日南市の油津商店街を視察。商店街再生の切り札は「まず働く場をつくる」こと。都会から情報通信系の企業を誘致。自ずと飲食店・小売店などにもぎわう。示唆に富む取組です。

④コロナ対策要望書提出

■新型コロナウイルスの影響が深刻化してきた4月、会派として感染防止対策と経済対策を柱とする要望書を二度、市長宛てに提出しました。その後、議

会全体としても提出する運びとなり、行政の創意工夫により対策の充実へとつながりました。



⑤下鶴氏との勉強会



■8月、下鶴隆央鹿児島市長

(当時は県議)との勉強会。大島支庁で県事業について学んだ後、市役所で日頃の活動について意見交換しました。同世代から県都のリーダーが誕生、このつながりを今後も活かしていきます。

⑥タンギョの滝



■8月、非公式記録ながら、落差が九州一を誇る住用町・タンギョの滝を探検。エコツアーとしての可能性、安全に散策するための施策について、身をもって体感、調査しました。

⑦古仁屋高校視察



■10月、学生寮の復活など、古仁屋高校の生徒確保策について学びました。地域おこし協力隊員が寮監をしたり、県の施設を活用したりと、様々な知恵や連携による資源活用が光っていました。

⑧議員間交流



■10月、今夏沖永良部・知名

町議となった福川勝久氏が来島、朝の街頭活動をともにした後、議会での決算審査や一般質問などについて意見交換しました。群島内外の他自治体議会議員との交流・連携も深めています。

⑨農家レストラン



■11月、古見方地区の畑の中で、農業に取り組む方々とのランチミーティングに参加しました。奄美の農業の可能性、古見方地区活性化の方向性など貴重な意見を頂きました。これからの政策立案に活かしてまいります。